新潟県立近代美術館・万代島美術館所蔵作品データベースの作成について

佐藤克己

1 はじめに

近代美術館に勤務してもうすぐ1年が過ぎようとしている。勤務開始当初はすばらしい所蔵品の数々と学芸員の高い専門性による仕事ぶりにただ圧倒されていた。しかし、しばらくして、いくつかの疑問も出てきた。例えば、近代美術館・万代島美術館の正確な所蔵作品の点数をすぐに分かる方法はないのか、常設展の作品解説を担当者がその都度最初から作らなくてよい方法はないのか、等である。

近代美術館には、来館者用作品データベースがある。 しかし、これは来館者サービスとして主立った作品しか 登録しておらず、作品数は1.655点に過ぎない。

そこで、職員のための近代美術館・万代島美術館が所蔵するすべての作品データベースを新たに構築する必要があると感じてきた。しかし、これまでにも学芸課で何度も所蔵作品データベースを作成しようとして、その度に途中で挫折してきたという話を聞き、容易でないことを痛感した。それとともに、それであればなおのこと、所蔵作品データベースの作成が必要であることも痛感した。

2 所蔵作品データベース作成に使用するアプリケーションソフトについて

所蔵作品データベースを作成するにあたりまず問題となったのは、パソコン上でそのアプリケーションソフトを使うかであった。主なデータベースソフトのメリット・デメリットは、次のとおりである。

ソフト名	メリット	デメリット
マイクロソフト社 エクセル	○多くの人が使っており、使いやすい。	○多くの項目を設定す ると、見づらく使い づらい。
マイクロソフト社 アクセス	○多くの解説書が出て おり、ソフトの値段 もさほど高くない。	○ SQL などの専門用 語の知識が必要であ る。
ファイルメーカー社 ファイルメーカープロ	○初心者にも使いやす く、画面レイアウト の設定・変更も容易 である。	○解説書が多く出ていない。○アクセスと比較して、多少値段が高い。
My SQL Post Gre SQL	○フリーソフトのため、ソフトの経費がかからない。	○プログラミングの知 識が必要である。

こうしたメリット・デメリットを踏まえ、今回使用するアプリケーションソフトはファイルメーカープロにすることとした。

3 所蔵作品データベース作成における基本事項について

所蔵作品データベースを作成するにあたり、以下の点を基本事項として作成することとした。

- (1) 所蔵作品データベースの作成は、このデータベース を活用して近代美術館・万代島美術館職員の業務の効 率化を図ることを目的とする。
- (2) 作品登録の順番は、作品管理簿に基づくこととする。
- (3) 作品管理簿で1作品とされていても、作品を見てさらに細分化することも可とする。例えば、歌川広重の《東海道五十三次》は355番となっているが、1枚の版画を1作品と数え、355-001、355-002などとする。土田麦遷の画帳《ヨーロッパ》は365-024となっているが、1ないし2ページの素描作品を1作品と数え、365-024-001、

365-024-002などとする。

この数え方で算出した所蔵作品数は、2010年1月末 段階で5,317である。

(4) 来館者用データベースの項目をすべて引き継ぐが、 所蔵作品に関する情報を網羅したデータを作成する。 具体的には、作品管理簿、来館者用データベース、作 品カード、ネガ・ポジに関するデータ、収蔵庫に関す るデータ等である。

1月末段階で、データ項目数は画像4項目を含む108 項目で設定してある。この数は今後増やすことも可能 である。

新潟県立近代美術館・万代島美術館所蔵作品 職員用データベース トップページ

「新潟県立近代美術館・万代島美術館所蔵作品 職員用データベース」では、以下のことをすることができます。

- 1 作品を調べる
- 2 常設展・企画展用の作品キャブションを作る
- 3 常設展・企画展用の作家履歴キャブションを作る
- 4 常設展・企画展用の出品作品目録のデータを作る
- 5 作品の所管・所蔵場所ラベルを作る

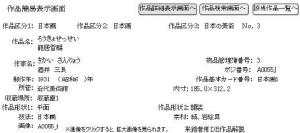
作品検索画面へ

作品キャプション作成用検索画面へ

作家履歴キャブション作成用検索画面へ 出品作品目録データ作成用検索画面へ

所管・所蔵場所ラベル作成用検索画面へ

図 1





不等値が記げる時間の開発国品作品。(第 居雪器)は雪が積った冬、家の中に轄が仕事 をする展示の様子を、おだめかで圏と表現 している。作者が興味を持ち、心がかれていた 郷里の情景、農村の人々の素料な着お、 が指かれている。画面中央から放射線状に 技がるように構成している。空間処理が下目 然かためて服験と歌とを受けるが、視点を封 料物の近くにとって大胆に、そして意欲的に



図 2

4 所蔵作品データベースでできること

所蔵作品データベースでは、以下の作業ができるよう になっている。(図1)

(1) 作品を調べる

1つ目は、作品について調べる機能である。検索画面を通して、調べたい作品に関する情報を「作品簡易表示画面」(図2)で見ることができるようになっている。画像を大きく表示したい場合は、「画像拡大表示画面」(図3)で見ることができるようになっている。さらに、108項目すべてを表示する「作品詳細表示画面」(図4)で見ることもできるようになっている。



図3



図 4

(2) 常設展・企画展用の作品キャプションを作る

2つ目は、常設展・企画展用の作品キャプションを作る機能である。これまでその都度担当者が作成していた作品キャプションを、過去のデータを参考にして効率的に作成できるようにした。

検索画面を通して表示したい作品を「作品キャプション作成画面1」(図5)に表示する。この画面で留意したのは、「選ぶ」ボタンを設定したことである。このボタンをクリックし、「『選ぶ』のみ表示」をクリックすると、選んだ作品のみ表示できるようにした。この「選ぶ」ボタンはどの作品区分で検索し、何回繰り返しても必ず選んだ作品のみ表示できるようにした。これで、常設展・企画

※作成したい作品の「口選ぶ」の口をクリックしてください。 作品キャプション作成画面 1 作品キャプション作成画面 1 (電話が出る) (電話が出るの表示を少かしているが、 「作品キャプション作成用検索画面」 (「作品キャプション作成用検索画面」 (「電話が出る。 (「電話が出る。 でかけ するときは、「電話は全分リフを少か、 (「電話ないを少かってかりするときは、「電話は全分リフを少か。 [選ぶ」のみ表示] [選ぶ」をクフア] 「「作品キャブション作成画面2」へ [出品作品目録データ作成画面1」へ 作品区分2 カード番号 作家名 作品名 画像 図選 日本画 日本画1 酒井 三艮 籠居雪聲 口選ばない 外国油彩 洋画175 外国油彩 洋画258 カミーユ・コロー BIBLIS(ビブリ) □選ばない

図5



来館者用DB作品解説:

1911年(昭和の第18回院展出品作品。《発居曹馨》は晋が積った冬、家の中に籍が作事をする農家の様子を、 おだせかで傷以る速見ている。作者が興味を持ち、心るゆれていた郷里の情景、農村の人々の委託と等し、 が計画かれている。画面中央から放射線状に拡がるよど、構成している。空間が理が不自然なため不思議と感じ を受けるが、視点を打杯物の近くにとって大腿に、そして着始的に描いている。

常設展·企画展作品解説:

取废上回應下的時級に 再與無3回形展出品作。雪が移った冬、家の中に額にもりが仕事をする農家の様子を指いてもの。三良は同郷 の画家に絵の手はどきを受け、日本美術院の研究生どなり、郷重でスケッチ旅行中の小(お)川(かわ)事ぐ))銭 (せんと出会いほした。一貫して農村の人々の素朴な事がしをモチ・フセ、続けたことには、心の配り仰、宇芋 銭の影響が大きかったどもいわれています。戦前の院展では、「新古典主義」の洗練された作風が主流でした が、福島出身の三良や富山出身の郷(ご)奇(くら)千(せん)郷(むん)などは、地方出身者がしい素朴な風景画を 指いて存在感を始ちました。

図6

展で必要な作品を漏れなく選ぶことが可能となった。

こうして作成するキャプションの作品が決定したら、「作品キャプション作成画面2」(図6) に移動する。「作品キャプション作成画面2」の右には過去の常設展・企画展での作品解説も表示しており、これらの文章を参考に「作品キャプション作成画面2」の最下段の「常設展・企画展作品解説作品」を入力する。そして、「作品キャプション確認画面」(図7)で確認し、よければ「PDFに出力する」をクリックする。

PDFのままでよければ印刷して表示できるし、レイアウトを変更したければPDFからWORDに変換するソフトを使って、さらに作業を進めていく。



SAKAI, Samyo Farm Work Japanese-style-painting

再興第18回院展出品作。雪が積った冬、家の中に籠(こも)的仕事をする農家の様子を描いたもの。三良は同郷の画家に絵の手ほどきを受け、日本美術院の研究生となり、郷里でスケッチ旅行中の小(お)川(がわ)芋(う)銭(せん)と出会いました。一貫して農村の人々の素朴な暮らしをモチーフとし続けたことには、心の師と仰いだ芋銭の影響が大きかったともいわれています。戦前の院展では、「新古典主義」の洗練された作風が主流でしたが、福島出身の三良や富山出身の郷で、う倉(くら)干(せん)郷じん)などは、地方出身者らしい素朴な風景画を描いて存在感を放ちました。

図7

- (3) 常設展・企画展用の作家履歴キャプションを作る 「(2) 常設展・企画展用の作品キャプションを作る」と 流れは同様である。
- (4) 常設展・企画展用の出品作品目録データを作る

常設展・企画展用の出品作品目録も、これまではその 都度担当者が作成していた。これを、データベースで速 やかに作成しようとする機能である。

検索画面を通して、出品したい作品を「出品作品目録データ作成画面1」(図8)に表示する。この画面にも「選ぶ」ボタンを設定した。これで、何回でも検索して必要な作品すべてを表示させることが可能となった。

「出品作品目録データ作成画面2」(図9)に進み、よければ「EXELで出力する」をクリックする。

(5) 作品の所管・所蔵場所ラベルを作る

企画展・常設展で作品を収蔵庫から出し入れしたり 作品確認をしたりする際に、必要に応じて作品ラベル (図10)を収蔵庫に掲示する。今年度はまだ実施できな かったが、次年度は実施する予定である。

トップへ	目録データ作成 『出品作品目録号 み表示『選ぶ 座り	产一列作成用検索	escia 1) ※選んだ (「ロ選	作品のみ表示するときは、『「) 作品をすべてグアするときは ぶ」の×をクリックすると、選ば 面2~~ 「「作品キャブシ	、『「選ぶ」全クリア」をクリッ
	作品区分2	カード番号	作家名		作品名	画像1
図選ぶ □選ばない	国内水彩	水彩画2	蕗谷	虹児	阿蘭蛇船	37.
図選ぶ □選ばない	国内水彩	水彩画3	蕗谷	虹児	花火	
図選ぶ□選ばない	国内彫刻	彫塑3	千野	茂	F嬢	2
図 選ぶ □ 選ばない	国内彫刻	周型4	千野	茂	坐	

図8

作家名	2	作品名	技法	寸法	制作年
辞谷 卓	虹児	阿蘭蛇船	水彩	32.1×41.1	1969年
辞谷 卓	虹児	花火	水彩	29.4×20.8	1952年
千野方	芰	F嬢	ブロンズ鋳造	46.2	1970年
千野 7	茂	坐		109.0×74. 0×63.0	1968年

図 9

5 成果と課題

1年間かけて作品管理簿に記載されているデータを電子データ化し、所蔵点数を区分・作家別に数えることができるようになった。また、ポジフィルムの画像データも登録することができた。これが、今年度の成果である。

しかし、来館者用データベースに登録されていない作品の詳細なデータや画像データの登録をいかに進めていくかは、次年度以降の大きな課題である。それとともに、近代美術館・万代島美術館職員の「こんな使い方をしたい。」「あんなことができるようなデータベースにしてほしい。」という声に応えられるように改良を進めていきたい。

さらに、このデータベースの情報を何らかの形で県民 や全国の美術愛好家等に伝えられるようにできればと 思っている。

(新潟県立近代美術館 主任学芸員)

酒井三良 塩屋香葉 収載車1 平面

平間 観集 日本暦 155.0×5½.2 1931年



図10